

横湯川堰堤（山ノ内町）



夜間瀬川に合流する横湯川に築かれた練石積堰堤です。古くから大災害を繰り返してきた横湯川に始めて砂防堰堤が施工されたのは明治39年ですが、明治42、43年の大洪水によって、施設のほとんどが流失してしまい、砂防工事は廃止されてしまいました。地元住民の陳情により、大正7年から内務省直轄工事が始められ、昭和7年から砂防事業は県へ移管されました。

令和3年7月16日 登録有形文化財